

新型コロナウイルス感染症対策実施チェックシート

令和2年8月修正 長野県社会福祉士会

【開始前】

- 会場は、「3つの密」(密閉・密集・密接)を回避するため、収容率は50%とし、換気ができ、可能な限り人が密着しない環境を整える。
- 集合以外の方法を駆使して、集合講座の開催時間を必要最小限に設定する。
- 使用会場の感染症対策を確認の上、それに従った対応を行う。
- 募集時、参加者へ周知すること
 - 県内での感染者の発生状況により、中止となる可能性があること。状況に応じて、オンライン研修に切り替える時は研修の2週間前までにホームページに掲載すること。
 - 2週間以内に下記に該当する人は参加できないこと。
 - 新型コロナウイルス感染者が多い地区へ出かけた。
 - 新型コロナウイルス感染者が確定した人と同居している。長時間乗り物に同乗した。
 - 新型コロナウイルス感染者が多い地域から来た親族などと必要な感染予防策なしで15分以上接触した(周辺の環境や接触状況から総合的に判断)。
 - 警戒レベル2以上の発令地域に居住又は勤務する人
 - 長野県が移動自粛県に指定した県外者
 - 当日、発熱や咳などのかぜ症状など、体調がすぐれない人は参加できないこと。
 - 集合研修中は必ず、マスクを着用してもらうこと。
 - 熱中症に必要な飲み物や換気による寒さ対策として上着などの用意を各自でしてもらうこと。
 - 前日までにホームページで研修会開催の有無を必ず確認すること。
 - 当日の緊急連絡先を確認しておくこと。

【当日】

- 入場前の準備と確認
 - 手指消毒液及び予備のマスク、非接触型体温計を準備する。
 - 参加者の体調及び連絡先を再確認する。
 - 会場入口に感染予防に関する案内を掲示する。
- 会場など
 - 入口ドアの開放など、ドアノブ等に触れずに入出りできるようにする。
 - 2方向以上、窓を開ける。またこまめに(最低1時間ごと)換気する。
 - 人を密着させない環境(1m以上～2mの間隔)を整備する。
- ▶参加者への周知
 - マスクの着用を徹底する。
 - 会場に入る際の手洗い(手指消毒)の実施ならびに研修の途中においても適宜手洗いを呼びかける。
 - 感染者が出た場合は保健所の指示のもと、その他の参加者に連絡を取り、症状の確認など調査に協力するように説明する。

【終了後】

- 机、椅子、手すり、ドアノブ等を消毒する(消毒液をつけたペーパータオル等で拭き取る)。